

(様式 3)

女性農業者活躍促進計画

実施主体名	有限会社 岡山県農商
取組	(2) 女性が働きやすい環境整備に向けた施設の確保
構成員数	14名 (うち女性6名)

1 事業実施方針

ここ数年慢性的な人手不足にあり、募集をしてもなかなか人が集まらない状態が続いている。農業＝重労働、汚れるというイメージもある為か女性農業者は特に募集が少なく弊社の課題である。就農者を定着させるためには、働き手が安心できる就労環境を整える必要があると考える。

今回の環境整備によって作業場内のトイレを改修し、明るく清潔な職場環境を提供することで女性農業者の雇用増加に繋げる。女性スタッフからの声で働きやすい環境＝きれいで清潔なトイレとの要望があったが現在は共同で使用するトイレが2か所しかない。今回の計画では現在共同で使用している2個のトイレを改修し、男女各2か所のトイレを設ける。また現在は土足で使用しているが、女性スタッフから土足禁止で清潔に使用したいとの声があった為、改修後は土足禁止で使用。トイレ内でも着替えができるよう女性のトイレは広めのスペースを確保する。

就労環境の改善によって農業のイメージアップを図り女性農業者の雇用増加に繋げる。

女性農業者の雇用拡大で女性ならではのアイデアが生まれ、新たな事業や商品開発にも取り組んでいきたい。

弊社の取り組みによって、幅広い層に農業への興味を持っていただき、農業業界の活性化、農産物の魅力発信に繋がっていくと考える。

(注) 具体的に記載してください。

## 2 女性農業者活躍に向けた実施体制

企業概要			
企業情報			
商号	有限会社 岡山県農商	会社設立	平成 11 年 7 月
所在地	岡山市北区中原 497-2	事業内容	野菜の生産、加工、販売
電話番号	086-275-1115	資本金	2000 万円
代表者	板橋 良樹	年商	1 億 6480 万円

### 沿革

- ・平成 11 年 10 年間の個人農家を経て創業者板橋完樹が農業生産法人を設立  
青ネギの生産を行う
- ・平成 15 年 岡山市北区御津に農地を拡大し、生産性を上げる  
自社ブランド桃太郎ねぎとして商標登録し、小売りの販売開始
- ・平成 24 年 ねぎの加工工場を新設しカットねぎの加工を開始
- ・平成 24 年 ミニトマトの生産開始
- ・平成 27 年 きびトマト商標出願済
- ・平成 27 年 岡山県久米郡久米南町で黒豆の生産開始

### 立地

弊社は岡山駅から7km程の距離にあり昔から青ネギ栽培が盛んな地域にある。ミネラルを多く含む砂地、そのまま飲料水にできるほど良質な地下水があり農地として恵まれた場所である。

農地面積は約 10ha

弊社農地写真→



### 商品

現在は、青ネギとミニトマトが収益の柱となっている。平成 15 年より青ネギの小売販売を開始、平成 24 年よりねぎの加工品の販売を開始している。現状としてねぎは約半数を市場に出荷しているが市

場の価格変動は激しく、小売りの販売を強化していくことで売り上げの安定を行っている。またミニトマトは販売単価の高い高糖度ミニトマトを栽培。近年、関東・関西の高級スーパーへの販路を拡大している。

女性スタッフの業務内容

- ・トマトの栽培管理・・・フルタイム女性 1 名
  - ・トマトの出荷作業・・・パート女性 2 名
  - ・青ネギの出荷作業・・・フルタイム女性 2 名、パート女性 1 名
- (時期によって変動あり)で行っている。

入社 8 年目の女性スタッフが中心となり栽培管理や出荷作業の教育を行っている。

また、ICT 導入によりデータをもとに灌水、施肥を行うことで従来のカンや経験に頼る農業から、生産技術を短期間で身に着けることも可能になる。弊社ではトマト栽培において ICT 技術を導入しているが農業経験が浅い女性スタッフでも数値を基に灌水や施肥を行える為、栽培管理を短期間で習得することに繋がっている。

また、農薬の散布作業は女性農業者には重労働との声が出たため弊社では農薬散布に特殊噴口という機械を導入している。特殊噴口で農薬散布を簡易化し、作業時間の効率化を図ることに繋がっている。経験や体力が必要であった農薬散布を女性や経験が浅い従業員も使用可能になる為新規農業従業員の確保が容易になると考える。

(注) 応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第 4 の (1) の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について 5 名以上の農業者 (女性 1 名以上を含む) の氏名を記載してください。

3 女性農業者活躍のため実施している取組及び今後の取組

(1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
① ミャンマーから女性技能実習生を雇用	① 2020 年女性 2 名新規雇用	
② 農業法人協会の研修体験受け入れ	2021 年 2 名予定	
③ 農大での情報交換、先生方への声掛け、協力依頼	② 2021 年 3 月 女性 1 名大学 3 年生が一週間体験し、就職候補として検討中。	
④ 女性社員への声掛け協力依頼で知り合いやご家族を紹介してもらう	③ 2020 年男性 2 名女性 1 名見学	
⑤ 新規就農者	④ 産休明けに 2 名パートで検討中。 ⑤ 2020 年男性 2 名 2021 年男性 2 名	

(2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
① 地域農業者との情報交換 地域農業者との関係構築	① 年に数回開催し、情報交換や新たに雇用したスタッフを紹介する。2020年は大勢での交流は行わず近所のアスパラ農家さんを訪問。	
② 他県への視察 女性が活躍している農業法人を視察して、情報交換、モチベーションアップに繋げる	② 2020年はコロナの影響で実施出来ず。 2019年三重県、佐賀県、兵庫県 の農家を視察	
③ 平成いもの会 弊社が毎年主催しているさつまいもの植え付け 収穫(6月、11月)イベントを通じて地域住民との 交流を図る。炊き出しは地域の女性に協力依 頼し弊社の女性スタッフと一緒に炊き出しを行っ ており地域女性との交流の場になっている。	③ 2020年はコロナで実施出来ず。2019年は約200名が参加。	

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(3) 女性農業者の活躍に向けた取組

内容	成果/目標	備考
① 試食販売で弊社の商品をPR	① 毎年東京や大阪など弊社の野菜を納品している百貨店、高級スーパーで試食販売を行い、自社商品のPRを行う。また消費者からの生の声が聴けるのでおいしいと いっていただくことでモチベーションアップに繋がっている。2020年は実施できず。 2019年5月大阪、東京の高級スーパー、百貨店で試食販売	
② 家庭事情に合わせ無理のないシフト作成	② 子育て中の女性スタッフ(現在2名)に配慮したシフト作成で家庭負担を軽減する。	

<p>(主婦の方は土日祝休み、平日 3 時までなど)</p> <p>③ 有給休暇を取得しやすい環境づくり</p> <p>④ 毎月ファーマーズマーケットに出店し自社野菜、スムージーを対面販売</p> <p>⑤ 岡山市主催の地産地消マルシェに参加</p> <p>今後取り組み</p> <p>⑥ 商品開発 女性の視点を生かした商品開発</p>	<p>③ 上司からの声掛けを行い有給休暇を使用してもらおう。学校行事や健康診断時などは積極的に使ってもらおう。</p> <p>④ 毎月第 2 日曜日に岡山市内の雑貨屋にて 10 年前から開催。女性スタッフが出店し、季節野菜を販売する。野菜の料理方法を説明したり、葉物でスムージーを提供することで自社商品の PR や野菜への関心を高めてもらい、農業を身近に感じていただく場を作っている。</p> <p>⑤ 2016 年 11 月より毎年開催されている岡山市主催の地産地消マルシェに毎年参加。地元の飲食店と協力し、自社野菜を使ったレシピを考案し、イベントに出店する。2020 年は会場での出店は無くなり、各飲食店で自社野菜を使ったメニューを提供して頂いた。2020 年黒豆を使用した煮込み料理、青ネギを使用したたこ焼きなど全 4 店舗へ食材提供。</p> <p>⑥ 自社商品の青ネギ・ミニトマトを使った加工品を作り売上拡大に繋げる。</p>	
--	--	--

#### 4 女性の活躍推進対策事業を活用した取組の計画内容

##### (2) 働きやすい環境整備への支援

###### 【計画内容】

時期	内容 (対象者・方法等)	備考
2021/8	<p>【清潔で明るいトイレ設置で気持ちよく仕事をしよう】</p> <p>・内容 作業場のトイレ改修工事 男女別のトイレ設置 (現在共同トイレ 2 個→男子2個、女子 2 個へ変更する。また現在は土足で使用しているが、女性スタッフから土足禁止で清潔に使</p>	

	<p>用したいとの声があった為、改修後は土足禁止で使用。トイレ内でも着替えができるよう女性のトイレは広めのスペースを確保する。）</p> <p>・対象者：男性 8 名、女性 6 名</p> <p>・効果 現在の暗くて汚いトイレから清潔で明るいトイレに改修することで会社のイメージアップになる。 スタッフが気持ちよく働くことができ、女性スタッフの長期雇用・新規の女性スタッフの獲得に繋げる。普段は農業に興味のない主婦の方や若い方にも清潔な職場環境を提供することで獲得につなげ、人手不足を解消する。</p>	
--	---	--

#### 5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	6                      人
<p>（新規確保女性農業者の内訳） 雇用就農者    3        人、アルバイト・ボランティア等    3        人</p>	